



健民運動 かわら版



発行：石川県健民運動推進
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民生活課内
TEL 076-225-1388

ホームページ [健民運動](#) [検索](#)

(E-mail)kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

～毎月第3日曜日は家庭の日です。家族とのふれあいを大切にしましょう～

◇ 鼓 動

公民館と子ども達の交流活動

石川県公民館連合会 副会長 岡野重和

◇ 健康体力づくり活動の推進

・第24回医王山雪祭りが開催されます。



第23回医王山雪祭りの様子

◇ 環境・文化活動の推進

・健民桜の名所づくり運動を紹介します。

◇ 青少年健全育成活動の推進

・第11回子どもドリームフェスティバルが開催されました。



◇ 県民ボランティアセンターだより

◇ 健民運動カレンダー



第11回ドリームフェスティバルの開幕
出演者のみなさん(谷本部長と共に)

◇ 薫 風

次世代に伝えよ、農の魂 農の力

J A石川県青壮年部協議会 委員長 中本征宏

鼓 動



公民館と子ども達の交流活動

石川県公民館連合会 副会長 岡野重和

平成17年2月白山市が発足、1市2町5村の合併は近県には見られない超広域となった。同年4月に28公民館を傘下に白山市公民館連合会がスタートした。いまは合併当初のお互いの蟠りもとけ、自然や文化を互いに求めあう他地域との交流もはじまり公民館活動に新鮮さが見られる。

平成12年より旧松任市ではじめた地域の特色をいかした公民館活性化事業も全公民館で実施している。この活動が基盤となり各研究大会での事例発表も引き受けてきた。「白山市生涯学習の集い」では毎回パネル展で各公民館が写真などを掲示して一般市民に活動報告をしている。すべての公民館に子ども達の活躍できる行事が必ず組まれてあり、そこには親子や高齢者とのふれあいが伺われる。その中で、山間部と平野部の子ども達の交流は、先進的な取り組みとして際立っている。

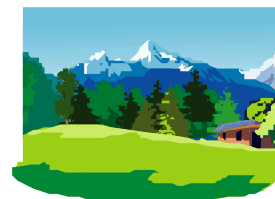
御手洗公民館と白峰公民館の宿泊による子ども達相互の交流は早くからはじまった。山間部の子ども達に地引網など海の体験を、逆に海の子ども達に山間部の文化に触れさせる、まさに自然体験と文化交流が直に行われている。これに刺激されて他の公民館でも同様の動きがはじまった。

私が館長を勤める一木公民館では、10年前から福井市東郷公民館と交流をはじめている。朝倉遺跡が近くにある福井市の南部地帯で、地域づくりに共通する思いがあり、相互訪問で文化交流を続けてきた。平成17年からは子ども達の交流事業もはじめた。初回は白峰地区で化石採集や堅豆腐づくりを、その後両県持ち回りで行うことを約束し、19年度には石川県で地引網を通して交流をおこなった。定着して5回目となる今年は石川県で開催する。

遠隔地との交流ばかりでなく、近隣の地域交流も大切と思う。昔から旧北陸街道を通して交流のあった柏野公民館との子ども達の交流もはじめている。両地域の歴史発見ウォーキングや社会見学など年1回ではあるが、これも定着へと進歩した。

子ども達の交流には親や支援する大人のグループが必ず存在する。そのことが世代間交流の意義である、家庭を超えた子ども達の社会性の学びの機会となるのではと思う。今後とも大いに開かれた公民館として、公民館が地域づくりのコーディネータ役となり、子どもに視点をおいた、多くの方やグループが参画できる場でありたいと思う。

また、公民館を拠点とした、地域における各団体やグループによる青少年の健全育成活動にも期待したいものである。



健康体力づくり活動の推進

◇第24回「医王山雪祭り」が開催されます。

冬の健康体力づくり健民運動「第24回医王山雪祭り」が下記の内容で実施される予定です。
親子、子ども会、スポーツ少年団、PTA・育友会、学童保育、各種クラブ等で、参加してみませんか。
2月28日(参加費無料:要申込)だけの参加もできます。

日時 平成21年2月28日(土)～3月1日(日)
場所 医王山スポーツセンター特設会場

主催：(財)石川県体育協会医王山スポーツセンター 石川県健民運動推進本部
協賛：サントリーグループ北陸ペプシコーラ販売株式会社



チヨ～気持ちいい!

28日(土)のプログラム

14時45分～ かまくらづくり

宿泊する方だけが
参加できます。(要申込)



かまくらの中で 七輪でかき餅を焼いて食べましょう 意外に暖かいよ ほのぼの～



19時～ 雪上ファイヤーin医王山 ◇炎と雪の世界へ ◇幻想的な世界を体験しましょう!



フチ花火

ろうソクの灯りに導かれて歩く道 漆黒の間を焦がす赤い炎



(イメージです)

1日(日)のプログラム

日帰りで参加できます。無料!(要申込)

9時～ 雪像づくりコンクール in 医王山(宿泊者のみ)

14時
終了予定

9時30分～ スノーランド in 医王山 雪と遊ぼう!

◇雪あそびランド◇

◇フアフア(イメージです)◇



チュービング

みんなと
遊ぼう

雪あそび

竹スキーもあるよ
挑戦してね
(イメージです)



中にも入れるよ!

温かいメッタ汁と
おにぎりも用意してあ
るのだ!無料なのだ!

雪中景品 Get 大会
おみやげをもらって帰
ろう!12時過ぎより

◇手作りコーナー◇



(グニャグニャ凧?)



(ごぞんじ竹スキー)

◇フライングディスクゴルフ◇



(イメージです)

ディスクを投げ、ゴールに
何回で入るかというゲーム。

カンジキをはいて雪の上
でやりましょう。
カンジキって、はいたこと
ありますか?

カンジキ体験だけでもいいですよ



参加費 宿泊 大人 3,000円(高校生以上)
 (1泊3食) 子ども 2,000円(4歳~中学生)
 2日目は、どなたでも参加できます。(無料:要申込)
 *子どもだけの参加はできません。(保護者か引率者必要)

問合わせ 医王山スポーツセンター〔金沢市田島町よ27甲〕
 申し込み 宿泊、日帰り(2日目のみ)とも、2月22日(日)までに参加申込書をお送りください。
 電話 076-229-1591 積雪状態、天候により実施できないことがあります。
 参加定員 宿泊120人、日帰り180人になりしだい締め切る場合があります。

環境・文化活動の推進

◇健民桜の名所づくり運動を紹介します。

先月号に引き続き、健民運動推進本部に送られてきた報告書の中から、桜の苗木の植樹風景等をご紹介します。

◎小松市大島町町内会

今回が2回目の植樹となります。今までに45本植えましたが、砂地なので根つきが悪いように思っています。



◎穴水町丸山楽落



初めての植樹です。町内会の人たちやボランティアの方々60名の協力で100本の植樹が行われました。参加者が、5年後10年後の景観を想像しながら植樹しているのを見ているとこの事業をやったなあと感じています。



◎石川県中能登農林総合事務所

初めての植樹です。昨年開通した林道「城石線」の沿線に大漁桜の苗木30本を事務所の職員13名で行いました。この周辺は、富山湾及び石動山の頂上を眺めることが出来る絶景の場所で、桜の花が咲くのを楽しみにしています。



◎能登町久田区

今回で、5回目の植樹となります。今までに80本ぐらいの植樹をしてきましたが、初めて植えたのは25年くらい前です。



第1回目の植樹の写真(集落全員の写真)が集会場の額に入り飾られています。たまに見ると今は亡くなった人もいたので、みんなで懐かしんだりしています。



◎七尾市東湊公民館

10年くらい前に初めて植樹をして今までに300本くらいになります。

植樹してから、順調に花が咲き、今では桜の名所になってきています。

木の消毒が大変ですが、花を眺めていると心がなごみます。



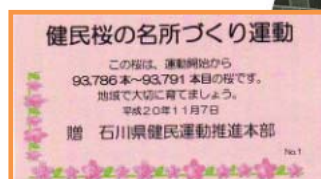
◎小松市立園分中学校



はじめての植樹です。生徒会環境委員21名と3名の先生方で植樹をしました。

グラウンドの隅に植樹しましたが、グラウンドの土の下に石がたくさんあり、ちゃんと根がはるかとても心配です。

生徒達は、花が咲くことを楽しみに寒い中でしたが、張り切って植えていたのが良かったです。



青少年健全育成活動の推進

◇第11回子どもドリームフェスティバルが開催されました。

今年度は、県内から68件の応募のあった中から7つの夢が選定され、今回の発表となりましたが、発表までにはいろいろな準備が必要でした。

【会場視察】

11月27日・28日には、ドリームフェスティバルの会場となる石川県立音楽堂の邦楽ホールで、指導者や子ども達が実際に舞台上がり、施設・設備の説明を受けながら見学をしました。



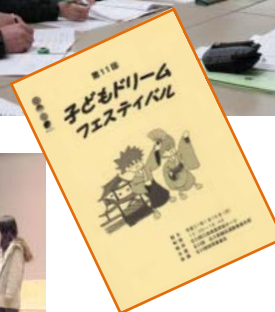
【音楽堂のスタッフとの打ち合わせ】

12月26日は、石川県立音楽堂のスタッフとフェスティバルに向け、日程の確認と出演する団体のそれぞれの舞台発表の流れと照明・音響・舞台装置等について詳細に打ち合わせを行いました。



【リハーサル風景】

本番に向けて最後の練習を一生懸命に頑張っています。



【第11回子どもドリームフェスティバルの開幕】

第11回子どもドリームフェスティバルは、1月18日（日）午後1時30分から石川県立音楽堂邦楽ホールで開催されました。出演の総数は7グループ、423名です。観客席は、子ども達の晴れの舞台を観ようと約570名の皆さんが参加されました。

○開会・あいさつ

発表に先立ち、石川県健民運動推進本部長の谷本正憲県知事から「子どもたちが夢を持ち、実現に向けて努力することは大切なことです。夢の実現に向け、これまでの保護者の皆さんや指導者の方々の温かい援助に対し感謝するとともに、今日は子どもたちの晴れの舞台をしっかりと観てください。」と感謝と激励のことばがありました。



○「夢」の発表

舞台では、実現した夢の内容が次々と紹介され、それぞれが発表した後には、司会のインタビューに応え、会場からは大きな拍手がありました。発表の一部をプログラムのコメントと併せて紹介します。

◇金沢城で剣舞・日舞を踊りたい！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・泉の台幼稚園



年長組の子ども達は、剣舞を渋川流宗家田村天聖月先生に、日舞を藤間流藤間信乃輔先生に週に一度教えて頂いています。本物の金沢城で少年剣士やお姫様達が一生懸命舞い踊る事ができ、夢が叶ってとても幸せでした。

◇大きな絵本を作りたい！・・・・・・・・・・・・・・・・津幡とくの幼稚園



子ども達の「食育」の一環として「田んぼ」をテーマとして取り組んでいます。子ども達が経験した「代かき」「田植え」「稲刈り」「脱穀」から、「思ったこと」「感じたこと」「伝えたいこと」などを、それぞれ見開き2ページずつにして大型絵本を製作しました。大型絵本は、閉じた状態で高さ約150cm、幅約90cmの大きさです。

◇大きなダンボールハウスを作って、みんなで楽しみたい！・・・・直小メンバーズ



私達は今まで小さいダンボールハウスをいくつか作ってきました。高学年になって、いそがしくなり作る機会がなくなってきたけど、「大きなダンボールハウスをつくりたい。」とっていました。大きなダンボールハウスが完成したら、クラスのみなどと楽しみたいです。できれば合宿もしたいです。

◇風の又三郎・わたし達の演劇を多くの人に見てもらいたい！・・・・ぼらぼらの会



私たちは、演劇が大好きな障害の子どもを持つ親の会です。子どもたちの夢は「演劇の舞台に再び立ちたい！」です。5年前、プロの演劇の方々やサポーター、ボランティアの方々との出会いをきっかけに演劇活動をスタートしました。

その後もワークショップ、交流を重ねてきました。新しい表現の形のお芝居をぜひ観てください。サポートがあればこんなに可能性が広がるんだということも知ってもらいたいです。



◇洋服をデザインし、作成してファッションショーをひらきたい！

・・・加賀市立橋立小学校



自分たちで洋服をデザインし、作成してファッションショーをひらきたい。クラスでの話し合いの時の子ども達の生き生きとした表情が忘れられません。夢を叶えるのには、努力が必要だということ、体験を通じて学んで欲しい。

◇みんなの金沢いきいき隊・・・・・・・・・・・・・・・・金沢大学附属小学校



私達は金沢が大好きです。しかし、ほんとうの金沢の良さが全国に広まっていないのではないのでしょうか。そこで、私達は、金沢の良さを調べ発信し、金沢を訪れてくれる人に「ここを訪れてみたい」「こんな歴史があるのか」ということを知ってもらい、そのことを全国に発信することで金沢を訪れる人を増やし、金沢市を活性化したいと考えています。

◇歌劇座でみそぐら・金沢の伝統文化を発信したい！・・・金沢市立味噌蔵町小学校



各学年でそれぞれ金沢の伝統文化を勉強し、発表しました。

- 1年生 伝承遊び「いっしょに遊ばんけ」
- 2年生 劇「芋掘り藤五郎」
- 3年生 夢太鼓～第一章「鼓動」
第二章「祭」
- 4年生 踊り「我が誇り 前田利家公」
- 5年生 狂言「うさぎ」「口真似」と加賀宝生の謡「鶴亀」
- 6年生 能面と加賀宝生の謡「羽衣」



○夢の取り組みの展示

夢の実現に向け、取り組んできた内容を2階ホール前で展示しました。

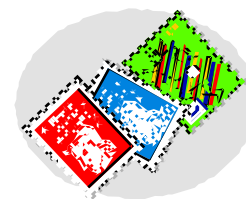
ドリームサポーターの支援をはじめ、多くの人たちの応援がありました。



県民ボランティアセンターだより

* 収集物（1月分）*

＜使用済み切手＞
金沢中央郵便局、県民生活課
出納室、廃棄物対策課



計 4 件

ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

* ひとこと *

寒さが一段とつのってまいりましたが、お風邪などめされていませんか。誰でも無理なく身近なところから「ボランティア」はできます。自分に合った「ボランティア」を見つけてみましょう。

（財）石川県県民ボランティアセンター

〒920-0962
金沢市広坂2丁目1番1号 石川県広坂庁舎 4階
tel:076-223-9558 fax:076-223-9559
e-mail:e130500a@pref.ishikawa.lg.jp

2月の健民運動カレンダー



2 / 22 (日) 第115回ゆず街道&湯けむりウォーク
於：湯涌校下 主催：石川県歩こう会連絡協議会

2 / 22 (日) 平成20年度介護のためのレクリエーション・セミナー
於：健民スポレクプラザ 主催：（財）石川県レクリエーション協会

【本部事業】

2 / 28 (土) 第24回医王山雪祭り
～3 / 1 (日) 於：医王山スポーツセンター
受付開始 1日目（13：15～）、2日目（8：45～）

薫風

次世代に伝えよ、農の魂 農の力



J A石川県青壮年部協議会 委員長 中本征宏

食の安心・安全に対する消費者の関心が高まる中、産地偽装や賞味期限の改ざん、中国からの輸入農産物や食料品への農薬等の混入、事故米穀の不正流通・販売・・・など、消費者に食の不安や不信を与える事件が頻発しており、いち生産者として非常に残念な日々を過ごしております。

わが国の食料自給率は40%で、先進国の中でも低位に推移している中、国民の食料を輸入に頼ってばかりでいいのか、この国の食料について国はどう考えているのかと不安になります。

さて、J A石川県青壮年部協議会の平成20年度の活動テーマを『次世代に伝えよ、農の魂 農の力』に設定しました。

農業・食料を取り巻く環境が変化する中、J A青壮年部として消費者・子ども達への食農教育・農業理解促進活動の取組みを強化するため、県組織から単位組織に対し、J AやJ A女性組織と連携のうえ、より充実した取組みの実践を推進しています。

小さい時の体験等の記憶は大人になっても忘れることは少ないと聞きます。

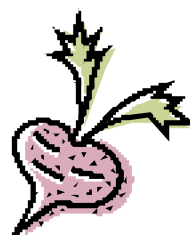
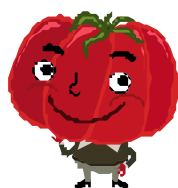
J A青壮年部など若手農業者が中心となり、より多くの子供たちに農業体験等の機会を通じて、農の魂・農の力を伝えていくことが必要だと考えています。

今年、県組織の呼びかけもあり、各単位組織において学童体験農園などを通じたさまざまな食農教育活動が展開されました。

子ども達は、学童体験農園でお米や野菜づくりに挑戦したようですが、なれない農作業にとまどいながらも楽しく体験できたほか、農産物の成長の過程を観察することにより、学校の授業ではあまり経験できない貴重な体験が出来たようです。

これらの取組みがきっかけで農業に興味を持ち、将来の職業の選択肢として就農につながれば、そうでなくとも地元農産物のファンとして県産農畜産物の消費拡大につながればと思います。

これからも、次世代を担う子ども達のため、安全で安心できる農産物を提供していくとともに、J A青壮年部における食農教育活動を継続するなど、微力ながら頑張りたいと思っています。



毎月7日は「健康の日」です。
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～